

平成 27 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2015

Date: 平成 28 年 3 月 22 日

言語社会専攻長

日本語・日本文化専攻長 殿

To Dean of Studies in Language and Society

To Dean of Studies in Japanese Language and Culture

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカ I 講座 准教授
氏名 Name	中村 未樹
専門分野 Academic Field	イギリス演劇

主たる研究テーマ Principal Research Subject	イギリス演劇
<p>今年度は「エリザベス朝演劇におけるパッションの表現、抑制、伝達、受容」という課題を中心に扱い、以下のような研究を行った。</p> <p>(1) ウィリアム・シェイクスピアの初期の喜劇作品である『ヴェローナの二紳士』について、ルネサンス期におけるパッションをめぐる議論を参照しながら分析を行った。その途中経過については、第 54 回シェイクスピア学会において口頭発表を行った。(タイトル:「表現と抑制—『ヴェローナの二紳士』における感情と演劇性について」) この発表の内容を修正し、『ヴェローナの二紳士』についての論文を作成した。</p> <p>(2) エリザベス朝の劇作家トマス・キッドによる復讐悲劇である『スペインの悲劇』の前半部分の翻訳を行った。</p> <p>(3) 関西シェイクスピア研究会 6 月例会において Janet Clare, "Shakespeare's Stage Traffic: Imitation, Borrowing and Competition in Renaissance Theatre" に関する書評発表を行った。</p> <p>(4) シェイクスピアの四大悲劇の一つである『リア王』におけるパッションについて研究を行った。</p>	